

人権教育通信【WAD】⑥号

～We Are Different～

文責：宮野

今回の情報モラル学習では「コミュニケーションの取り方を見直そう」という動画を視聴しました。大人と、生まれたときからスマホがある生徒は、コミュニケーションに関する価値観が異なるところがあるようです。以下、生徒の感想を一部ご紹介します。ご家庭でも今回の学習内容についてや、情報端末の利用について、話題にしていただけると有難いです。

生徒の感想 抜粋

- 自分も、家族に話しかけられたときにスマホを触っていて話をしっかり聞かない、っていうことが何回もあったのでしっかりスマホを一時中断して話を聞くことを意識したいです。
- 相手とコミュニケーションをとるときには相手の価値観を配慮してコミュニケーションをとるのが大切だということがわかりました。今後相手とコミュニケーションをとるときには相手との価値観の違いを配慮することを頭に入れながら楽しくコミュニケーションを取りたいです。
- ジェネレーションギャップという言葉はよく耳にすることがあったが、正しい意味は初めて知った。これから、インターネットでコミュニケーションをとる機会がどんどん増えていくと思うのでインターネット社会でも、現実社会と同じようにマナーに気を付けたいと思った。
- 確かに親とのギャップを感じることはあると思った。自分の考え方が正しいと思わず相手の意見をしっかり聞く。
- 自分もスマホを使うのに集中しすぎてなかなか家族との会話が出来ていない時があります。だから、これからはスマホの使い過ぎに注意しながら使っていきたいし家族との時間も大切なのでそのけじめをつけながら生活をより楽しく過ごしていきたいです。
- スマホは会話の話題を見つけることもできるけど、逆に会話が減ったり食い違ったりすることがあったからこれからはスマホの使い方を見直したい。
- 考えてみれば、自分も両親とコミュニケーションツールの使い方に違いがあったなあと思いました。これからは、世代の違いなどもかんがえながら、生きたいと思いました。
- インターネットを利用する際は、基本匿名だからと安心せずに、常に人と対話しているつもりでインターネットを利用したいです。一度玄関に張れる言葉か考える。インターネットの使い方をよく考えられる機会になりました。
- 振り返ればちゃんと家族と話せていないなあと思いました。だから、これからは家族とご飯の時に話してみようと、考えが深められました。
- 私はネット上でたまに連続投稿による独占投稿を見かけるので、これはよくないなと改めて思いました。ジェネレーションギャップが起らないようにするために相手とのコミュニケーションの取り方をもう一度見直し、お互いの意見が通じ合うような会話を意識していきたいです。
- 最近は、ちゃんと家族とコミュニケーションをとれていないような気がする。毎日夕食や帰ってきたときコミュニケーションをとり、ちゃんと相手の目を見て話していきたい。
- 仕事についての連絡や依頼についてなどをメールだけで済ませるのがよくないというのはよくわかるけど、生まれた時からメールがある身としては、大人の人に比べるとあまり問題のように感じていないのが「ジェネレーションギャップ」なのかとよくわかった。
- 自分でもよく親との SNS の使い方や認識が違うと思うことがあるので、これからも SNS との向き合い方についてしっかりと気を付けて使っていきたいです。
- 友達との会話でも価値観の違いが生まれ話が入れ違ふことがたまにあるなと思いました。だから相手の立場になって考えたり、なるべくわかりやすいような話の内容で会話を構成し、コミュニケーションを行いたいなと思いました。
- 自分も親じゃなくても人と話すときに相手のことを考え切れていなかったと思う。相手のことを考えて話す。伝え方に気を付けて話す。
- これから先どんどんケータイなどが必要な時代になっていくと思うので、使うときには今日習った相手を思いやること、情報社会と現実社会はつながっているということを忘れずに生活していきたいです。
- 自分も親とスマホに関しての意見の違いがあるので、相手の気持ちに合わせて接していこうと思いました。
- 動画を見て、確かに私も家で家族と話をするとき、自分の言っていることが親に伝わらないことがあるなと気づきました。家だけではなく家以外の場所でも話が伝わらなかったり、違う意味に捉えられないように配慮しながら話していきたいと思いました。

ご家庭でも、「スマホの使い方」について話題にいただけたらと思います。ご家庭での声掛けが、「今すぐ」ではないかもしれませんが、子どもたちの「未来」を変えていくと私は思います。